

## わが町の匠(たくみ)

農林水産省 「農業技術の匠」

トマト「ぶっ倒し栽培」技術で認定



今後に意欲を見せる  
若梅健司さん(栗山)

「好きでやってきた農業。これからも前向きな姿勢で取り組みたい。」

栗山で農業を営む若梅健

司さんが、全国で28人の

「農業技術の匠」認定者  
名を連ねました。若梅さん  
は、現在ビニールハウスで  
トマトやメロンの栽培をす  
るほか、県農業大学校でも  
講師を務めています。約30  
年前に考案したトマトの収  
穫期間を延ばす「ぶっ倒し  
栽培」技術が、このたび高  
く評価され農林水産省が創  
設した「農業技術の匠」に

選ばれました。

ぶっ倒し栽培は、立ち木  
のトマトを寒さから守るた  
めにトマトの木を倒すこと  
で、地熱がトマトを保温し  
収穫期の延長につながるこ  
うな技術。今では多くの生  
産者が、この技術を取り入  
れ、県外までも広がってい  
ます。技術について、若梅  
さんは「トマト農家の収穫  
量の増加と安定収入につな  
がれば」と話していました。

1/20

## 県循環型社会形成 推進功労賞を受賞

不法投棄監視員の高蝶義高  
さん(北清水)が、1月20日  
に開催された、千葉県産業廃  
棄物適正処理推進大会の席上  
で、千葉県循環型社会形成推  
進功労者(産業廃棄物関係事  
業功労者)として表彰を受け  
ました。

高蝶さんは平成9年から不  
法投棄監視員をつとめ、長年  
の産業廃棄物不法投棄防止活  
動が評価され受賞されました。



高蝶義高さん(北清水)

1/13

## 大会スローガンは「チェンジン」 県青年農業者会議で最優秀賞

◀研究結果について「品質、経済的にもメリット、デメリットもあるが、さらに工夫を重ねたい」と話す行木達哉さん(鳥喰上)



第48回千葉県青年農業者会議が1月13日  
に開催され、県内の青年農業者230人が  
参加しました。会議では、農業経営での実  
験や調査研究などの成果の発表や意見交換  
が行われ、わが町で酪農を営む行木達哉さ  
んが、プロジェクト発表の部で最優秀賞に  
輝きました。

行木さんは、自給飼料の向上を目指し自  
身が取り組んでいる中小規模向けフレコン  
バック簡易サイロの調製の研究・分析結果  
などを発表し、高い評価を受けました。